

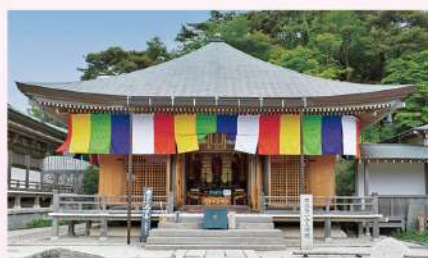
仏母忌・花供養

令和6年5月15日(水) 午前11時～ 摩耶夫人堂にて



▲写真左から 帝釈天・摩耶夫人尊・梵天

摩耶山の《仏母忌・花供養》は、忉利天に昇天して仏となられた摩耶夫人を讃嘆し、花々を捧げる法会です。



摩耶夫人堂



献花—ご参拝の皆さまにも献花をしていただきます—

—むかしなつかしい
「あめ湯のお接待」があります—

◆ 摩耶山天上寺の仏母忌・花供養 ◆

仏母会とともに全国唯一の法会です。(旧暦卯月十五日の法会なので、今日では一カ月遅れの毎年五月十五日に奉修しています)

お釈迦さまをお産みになったのち、忉利天に昇天された摩耶夫人まやぶにんのこの世での遺徳を追慕するとともに、忉利天に昇天(再生)して仏母となられた摩耶夫人を祝こぞぎ、その女人守護(殊に安産守護)の誓願を讃嘆し報謝する法会です。そして、仏母摩耶夫人を「母なるものの永遠の象徴」として讃え、それに重ねて、人それぞれに自分の母の恩徳を追慕し感謝する心情のまことを、花々に託してささげ奉る法会です

さらに、人々に安らぎを与えてくれる花々にも感謝し、供養の心をささげる意味をこめて「花供養」といいます。(ほとけに花をささげる意と、花そのものを供養するという二つの意味をあわせもっています) 当日執り行われる法会全体を称して「仏母忌・花供養」といいます (令和六年四月)